

投稿

検見川無線送信所を 地域文化財に



埋め立て前、東京湾の最奥部で海岸段丘だった検見川5丁目。一面の芋畑に、1926年（大正15年）、11本の大鉄塔が立ち、鉄筋2階白亜の逋信省東京無線電信局・検見川送信所が建てられた。

新検見川駅南口から徒歩10分。「大京」の先の歩道を左に曲がってすぐ見える、廢墟のようなコンクリート建築である。関東大震災のあと、国内はもとより欧米向けの無線通信やラジオ国際放送の開拓期を担った東洋一の送信所で、「J1AA」のコールサインを誇った。

10月27日「検見川送信所を知る会」には、台風の中にもかかわらず市民、建築家、市議5人など50人が集まり、保存の声をあげた。

瑞穂・同会代表

仲佐 秀雄

※関心のある方は、HP
【検見川レイディオ】
をご覧ください。

<http://kemigawaradio.blog17.fc2.com/>

